

安全データシート

作成・改訂日:2017年6月13日

1. 製品及び会社情報

製品名 : OC クリヤー No. 770 (水性)U. V. 主剤
 会社名 : 大村塗料株式会社
 住所 : 鳥取県鳥取市千代水3丁目87
 担当部門 : 研究開発室
 電話番号 : 0857-28-7881
 F A X 番号 : 0857-28-7716
 緊急連絡先 : 0857-31-0231
 推奨用途及び使用上の制限 : 塗料
 整理番号 : OC11770WB-UV

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 情報なし
 健康に関する有害性 : 急性毒性 (経口) 区分外
 急性毒性 (経皮) 区分外
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分2A
 皮膚感作性 区分1
 生殖毒性 区分2
 特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 区分2 (中枢神経)
 特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 区分2 (呼吸器)
 環境に対する有害性 : 情報なし

ラベル要素 絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 中枢神経の障害のおそれ
 長期または反復暴露による呼吸器の障害のおそれ

成分情報 : 該当なし

国、地域情報 : 該当なし

注意書き :

安全対策 ; 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡 (ゴーグル型)、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

救急措置 ;

吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けさせること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合は、吐かせず、口をすすぎ、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除いて下さい。

皮膚刺激が生じた時は、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類は直ちに脱ぎ、廃棄すること。

暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断/手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

保管；容器を密栓し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、施錠して保管すること。
5℃以上 40℃以下の屋内に密栓して保管する。
廃棄；内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No.	含有量	化審法番号／安衛法番号
水	7732-18-5	50～60%	対象外
シリコン変性アクリル樹脂		35～45%	あり／整理番号なし
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1～5%	(2)-422／整理番号なし
ジメチルアミノエタノール	108-01-0	1～5%	(2)-297／整理番号なし
イソプロピルアルコール	67-63-0	1%未満	(2)-207／2-(8)-319
アクリル酸ノルマルブチル	141-32-2	1%未満	(2)-989／整理番号なし
メタクリル酸メチル	80-62-6	1%未満	(2)-1036／整理番号なし

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

[吸入した場合] 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

[眼に入った場合] 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。できるだけ速く医師の診断を受ける。

[皮膚に付着した場合] 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

[飲み込んだ場合] 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませない。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

[応急措置をする者の保護] 救急者は、保護具を着用する（暴露防止措置の注意事項を参照）。

[医師に対する特別注意事項] 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項またはMSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤：泡、噴霧水、乾燥砂、粉末

特定の消火方法：周辺火災の場合；移動可能な場合、容器、梱包および周辺に散水し冷却する。
着火した場合；火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護：火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法令に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

作業者は保護具（暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを貼る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法：

回収；漏出液は密閉可能な容器にできる限り集める。残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。回収する時は、火花の出ない器具を用いること。

廃棄；回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

- 二次災害防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
 火気厳禁
 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

- 取り扱い : 容器は注意して取り扱い、開ける。
 使用時には飲食しない。
 皮膚との接触を避ける。
 眼との接触を避ける。
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 全ての汚染された衣類は直ちに脱ぐ。
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹼水で洗う。
- 技術的対策 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 換気の良い場所でのみ使用する。
 取扱場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設け、その場所を表示する。
 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
 適切な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。
 取り扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
- 注意事項 : 取り扱いは換気の良い場所で行う。
 蒸気またはミストが発生する場合は局所排気装置の設置された場所で作業する。
- 保管 : 5℃以上 40℃以下の屋内で保管する。
 熱から離して保管する。
 着火源から離して保管する（禁煙）。
 容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取り扱う。
 取扱場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設け、その場所を表示する。
- 許容濃度 : 情報なし
- 保護具 : 呼吸器の保護具 ; 有機溶剤用マスク。本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
 手の保護具 ; 不浸透性帯電防止手袋
 目の保護具 ; 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面。
 皮膚及び身体の保護具 ; 帯電防止性能を有する長袖の保護衣および安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

- 製品として :
- 形状 ; 液体
 - 色 ; 乳白色
 - 臭い ; 特異臭
 - pH ; 7.5~8.5
 - 比重 ; 約 1.06 (25℃)
 - 引火点 ; 引火せず
 - 溶解性 ; 水に可溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の保管及び取り扱いの条件では安定と考えられる。
 反応性 : 知見なし
 危険有害な分解生成物 : 知見なし

1 1. 有害性情報

情報なし

1 2. 環境影響情報

製品として：

生体蓄積性；情報なし

1 3. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物： 本製品は環境中に放出してはならない。

本製品は排水溝中に空けてはならない。

内部処理の場合： 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。

外部委託処理の場合： 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国連分類：なし

国連番号：なし

指針番号：なし

安全対策：保護具を携帯する。

容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法：危険物に該当しない。

労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）

アクリル酸ノルマルブチル（政令番号 4）：1%未満

プロピルアルコール（政令番号 494）：1%未満

メタクリル酸メチル（政令番号 557）：1%未満

毒物及び劇物取締法：該当しない。

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない。

外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が好ましい。

1 6. その他

本データシートは、一般的な工業的用途について「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考情報として提供するものであり、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものです。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さる様お願い致します。

参考文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

オム社：溶剤ポケットブック

危険防災救急便覧

国際化学物質安全カード（ICSC）

丸善：ザックス有害物質データブック

中央労働災害防止協会：化学物質の危険・有害便覧

原料メーカー MSDS

ACGIH：Threshold Limit Values for Chemical substances and Physical Agents

Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)

作業環境評価基準

製品安全データシート

作成・改訂日:2016年6月13日

1. 製品及び会社情報

製品名 : OC クリヤー No. 770 (水性) 硬化剤
 会社名 : 大村塗料株式会社
 住所 : 鳥取県鳥取市千代水3丁目87
 担当部門 : 研究開発室
 電話番号 : 0857-28-7881
 F A X 番号 : 0857-28-7716
 緊急連絡先 : 0857-31-0231
 推奨用途及び使用上の制限 : 塗料
 整理番号 : OC12770WB

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 情報なし
 健康に関する有害性 : 情報なし
 環境に対する有害性 : 情報なし
 ラベル要素 絵表示又はシンボル : 該当なし

成分情報 : 該当なし

国、地域情報 : 消防法 危険物 第四類 第三石油類 「火気厳禁」 危険等級Ⅲ

注意書き :

安全対策 ; 取扱中は、皮膚に触れない様に注意し、保護眼鏡（ゴーグル型）、保護手袋、保護マスク、保護衣などの適切な個人用保護具を着用すること。

救急措置 ;

吸入した場合は、被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けさせること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合は、吐かせず、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、医師の診断／手当てを受けること。

皮膚または髪に付着した時は多量の水と石鹸で洗い、衣類が汚染された時は直ちに全てを取り除いて下さい。

皮膚刺激が生じた時は、医師の診断／手当てを受けること。

汚染された衣類は直ちに脱ぎ、廃棄すること。

暴露または暴露の懸念がある時は、医師の診断／手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保管 ; 容器を密栓し、直射日光を避け、熱源から離れた換気の良い場所で、施錠して保管すること。

5℃以上 40℃以下の屋内に密栓して保管する。消防法危険物 1、6 類と混載してはならない。

廃棄 ; 内容物／容器等の製品付着物は関係法令に従って廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 単一製品

成分名	CAS No.	含有量	化審法番号／安衛法番号
加水分解性シリコン化合物	あり	99%以上	あり／整理番号なし

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

[吸入した場合] 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖か

く安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受ける。蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

[眼に入った場合] 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。できるだけ速く医師の診断を受ける。

[皮膚に付着した場合] 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シナーは使用しない。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

[飲み込んだ場合] 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませない。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

[応急措置をする者の保護] 救急者は、保護具を着用する（暴露防止措置の注意事項を参照）。

[医師に対する特別注意事項] 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項またはMSDSを示す。

5. 火災時の措置

消火剤 : 泡、噴霧水、乾燥砂、粉末

特定の消火方法 : 周辺火災の場合；移動可能な場合、容器、梱包および周辺に散水し冷却する。
着火した場合；火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法令に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

作業者は保護具（暴露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを貼る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

除去方法 :

回収；漏出液は密閉可能な容器にできる限り集める。残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。回収する時は、火花の出ない器具を用いること。

廃棄；回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

火気厳禁

漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取り扱い : 容器は注意して取り扱い、開ける。

使用時には飲食しない。

皮膚との接触を避ける。

眼との接触を避ける。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

全ての汚染された衣類は直ちに脱ぐ。

皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水または石鹼水で洗う。

技術的対策：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

換気の良い場所でのみ使用する。

取扱場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設け、その場所を表示する。

作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

適切な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。

- 取り扱いは手洗い、洗眼を十分に行う。
- 注意事項 : 取り扱いは換気の良い場所で行う。
蒸気またはミストが発生する場合は局所排気装置の設置された場所で作業する。
- 保管 : 5℃以上 40℃以下の屋内で保管する。
熱から離して保管する。着火源から離して保管する（禁煙）。
消防法危険物 1、6 類と混載してはならない。容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用して取り扱う。
取扱場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設け、その場所を表示する。
- 許容濃度 : 情報なし
- 保護具 : 呼吸器の保護具 ; 有機溶剤用マスク。本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
- 手の保護具 : 不浸透性帯電防止手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面。
- 皮膚及び身体の保護具 ; 帯電防止性能を有する長袖の保護衣および安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

- 製品として :
- 形状 ; 液体
- 色 ; 無色透明
- 臭い ; 特異臭
- 比重 ; 約 1.07 (25℃)
- 引火点 ; 122℃ (クリーブラント[®]開放式)
- 溶解性 ; 水に不溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の保管及び取り扱いの条件では安定と考えられる。
- 反応性 : 知見なし
- 危険有害な分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

情報なし

12. 環境影響情報

- 製品として :
- 生体蓄積性 ; 情報なし

13. 廃棄上の注意

- この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。
- 残余廃棄物 : 本製品は環境中に放出してはならない。
本製品は排水溝中に空けてはならない。
- 内部処理の場合 : 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。
- 外部委託処理の場合 : 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類 : なし
- 国連番号 : なし
- 指針番号 : なし
- 陸上輸送 : 消防法（危険物第四類第三石油類）の基準に従い、積載、運搬を行う。
容器 ; 危険物の規制に関する規則別表第 3 の 2 及び第 3 の 4

容器表示；第四類第三石油類、危険等級Ⅲ、非水溶性、火気厳禁
積載方法；運搬時の積み重ね高さ 3m以下
混載禁止；第一類、第六類の危険物、及び高压ガス
海上輸送；法令の基準に従い積載、運送する。
航空輸送；法令の基準に従い積載、運送する。
安全対策；保護具を携帯する。

容器に漏れのないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法：第四類第三石油類、危険等級Ⅲ、非水溶性
労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）該当しない
毒物及び劇物取締法：該当しない。
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：該当しない。
外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談が好ましい。

1 6. その他

本データシートは、一般的な工業的用途について「製品の適切な取り扱い」を確保するための参考情報として提供するものであり、製造者の保証書ではありません。現時点で信頼し得ると考えられる資料並びに測定等に基づき作成したものです。ご需要家各位は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取り下さる様お願い致します。

参考文献

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
オーム社：溶剤ポケットブック
危険防災救急便覧
国際化学物質安全カード（ICSC）
丸善：ザックス有害物質データブック
中央労働災害防止協会：化学物質の危険・有害便覧
原料メーカー MSDS
ACGIH：Threshold Limit Values for Chemical substances and Physical Agents
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances（RTECS）
作業環境評価基準